

伊東東郷記念館

案内人によるミニ講話

「日本最初の女子留學生物語」

～少女たちは如何にアメリカに順応し、帰国後の人生を切り開いていったか～
夢と現実とそのパイオニア精神について案内人が熱く語ります！

日 時： 2016年 **9月20日（火）** 開館時間 10:00～15:00

講 話：午前11:00～12:00、午後14:00～15:00（同じ内容です）

会 場：伊東東郷記念館（藤の広場より東郷小路を歩いて80m）

入館料：お一人様200円

問合せ：伊東観光番 電話/FAX 0557-37-3550

主 催：伊東自然歴史案内人会 東郷記念館部会

- ◎明治4年（1871年）11月22日、岩倉具視欧米使節団は、横浜を出港しアメリカに向かいました。その船の中に、北海道開拓使が募集した「5人」の女子留學生が乗っておりました。いずれも士族の娘で、吉益亮子（14歳）、上田禎子（14歳）、山川捨松（11歳）、永井繁子（8歳）、「津田梅子（6歳）」の少女たちです。
- ◎亮子と禎子は病気のため一年で帰国し、繁子は予定通り10年間アメリカで学んで帰国します。繁子の別荘は、何とこの伊東にありました。捨松と梅子は11年間学び、トップクラスで卒業しました。
- ◎帰国した彼女たちを待ちうけていたものは何だったのか。明治・大正の時代を生きた女性像にせまります。



ひっそりと佇む東郷記念館



(左から)梅子・アリス・繁子・捨松

伊東自然歴史案内人会へのお問合せは下記までお願いいたします
伊東観光番＝伊東市渚町2-48（Tel.0557-37-3550）

東郷記念館部会 20160920